



2月17日、今年度をもって閉校される長岡学校で「ふるさと給食」が生徒らに振舞われました。

ふるさと給食は地元でとれた新鮮な旬の食材をメニューに取り入れ、食を通して自然豊かな鳥羽や生産者の思いを学び、鳥羽を愛する心を育む目的で行われています。加茂牛を使用したそばろごはんや答志中学校の生徒が刈り取りを行ったわかめを使用したみそ汁などの給食を食べました。

給食の前には水産研究所の岩尾さんと学校栄養教諭の野村さんによる食育授業も行われ、鳥羽の各地で採れる海藻やさまざまな食材について学びました。

長岡中学校の生徒らがふるさと給食を堪能



2月8日、海島遊民くらぶ代表の江崎貴久さんが、全国日本学士会主催のアカデミア賞・社会部門を受賞したことを中村市長に報告しました。

この賞は学術文化、社会福祉、国際交流の分野で顕著な功績のあるかたに送られ、江崎さんは自然や地域の生活文化を通して訪れる人も地域の人も共に幸せにし得る「成幸エコツーリズム」を提唱し、環境や地域振興、教育などを一体化させた地域振興型ビジネスモデルを創造し実践、普及を行っていることが評価されての受賞となりました。

受賞を受けて江崎さんは「訪れるかたも巻き込みながら地域課題解決に取り組んで、みんなが幸せになる観光を目指していきたい」と話してくれました。

江崎貴久さんがアカデミア賞を受賞



2月15日、商工会議所女性部の30周年記念事業として市民体育館会議室に大型モニターを寄贈していただきました。

女性部はこれまで地域貢献活動などに努めており、新型コロナウイルス感染拡大を受けて予定していた記念事業が中止となったことから、地域のために役立ててほしいと寄贈を申し出ていただきました。

水谷伸子実行委員長は「地域の発展に貢献できるように30年間活動してきた。今後も役に立てるように続けていきたい」と思いを話してくれました。

商工会議所女性部30周年事業



2月2日、市内保育所で非常時を想定した給食を実施しました。避難所に備蓄していたアルファ米を活用し、非常時の限られたライフラインでも調理できる献立で提供されました。

子どもたちは、「コーンが甘くておいしい」「ごはん、かたくなって食べやすい」「いつものお米とあまりかわらない!」と、甘辛いツナコーンと一緒にアルファ米をたくさん食べました。【献立：ツナコーンごはん、バナナ、野菜ジュース】

アルファ米の給食メニュー!